

補 助 金 ・ 交 付 金 チ ェ ッ ク シ ー ト (No.1)

補 助 金 名 (交付金名)	函館港湾振興会補助金	開 始 年 度	昭和41年度
-------------------	------------	------------	--------

団 体 名	函館港湾振興会
-------	---------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館港の振興発展のための各種調査，情報交換，要望活動，クルーズ客船歓迎行事への参加など。
目 的	(目 的) 函館港の紹介・宣伝，諸調査研究，海事関連行事への参加を遂行し，港湾関係者の情報交換および連絡協調を図りながら，港利用の改善と振興・発展を企画する。
・ 効 果	(効 果) 高い政策効果が期待できるとともに，情報の入手，連絡協調が図られ，市行政の推進上非常に有効である。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	26	140		111	900	12	1	1,164
	27	140		100	850	8	1	1,099
	28	140		127	850	3	2	1,122
	29	140		144	825	2	1	1,112
	30	140		0	815	0	0	955
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体負担金等	予備費		計
	26		241	915				1,156
	27		242	854				1,096
	28		242	878				1,120
	29		247	865				1,112
	30		229	726				955

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館港湾振興会補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	函館港の利用促進、振興発展を目的としており、物流・人流の活性化やクルーズ客船による観光客の誘致などに伴う経済効果を通じ、広く市民生活に貢献しているほか、港湾整備に関する要望活動等により、施設整備の促進につなげ、経済活動の活性化を図り、市民生活の向上を促している。また、公益性が高いことから、市が事務局となっている。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	函館港の関連事業者を統合する唯一の団体であり、港湾管理者である市としても積極的に関わっていく必要がある。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	事業の見直しを図るとともに、経費の節減に努めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	本事業は、港湾の振興に必要なものであり、継続的な事業実施のため、補助金による財政的な支援が最適であると考え。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定められていないが、事業執行上、必要最低限の額を補助している。
4	補助割合は、補助対象経費の1／2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	収入は、主に会費と市からの補助金であるが、会員の減少に伴い減収となっている。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名
(交付金名)

函館港湾振興会補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- ・ 総会の開催
- ・ 港湾要覧の作成, 配布等による広報活動
- ・ クルーズ客船歓迎行事への参加
- ・ 要望活動, 関係会議への参加

(達成状況)

- ・ 総会の開催
- ・ 港湾要覧の作成
- ・ クルーズ客船歓迎行事への参加
- ・ 関連団体との合同トップセールスの実施

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

- 十分効果をあげている ☒
- 一定の効果をあげている ☐
- 効果が疑問である ☐
- その他 ☐

(理由)

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続

☒ 見直したうえで補助を継続

☐ 廃止

☐ その他

(見直しの内容)

適宜, 事業内容を見直し, 適切な事業の実施に努めているところではあるが, 今後も事業内容や積算内訳について, 経費が適正であるかなどの観点から精査し, 適正な補助額を算出する。

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度